トリコロール　2013.7･8 月号　発行:特定非営利活動法人かながわクラブ
〒221-0863　横浜市神奈川区羽沢町 1817　TEL045(370)3390/FAX045(381)8884
http://www.kanagawaclub.com

Tricolor

カヌー教室の開催について

大好評のカヌー教室を今年も下記のとおり開催します。皆様お誘いあわせの上ぜひお越しください。

■期日: 8 月 11 日(日)
※荒天時は中止

■会場: 県立宮ケ瀬湖カヌー場

■集合･解散:
9:30 現地集合(予定)･15:30 現地解散(予定)

■対象:
成人 1～2 名と未成年 1～2 名の計 2～4 名のグループ、又は成人同士 2～4 名のグループでお申込みください。グループごとに 1～2 艇に乗船します。

■定員: 24 名
※クラブ員以外の方も参加できます。
※未成年者のみで構成されたグループでは申し込めません。

■指導
NPO きよかわアウトドアスポーツクラブ
※カナディアン･カヌーを使用します。

■費用
*大人(中学生以上): 5,000 円(予定)
*小学生:3,000 円(予定)
*幼児:1,000 円(予定)
※上記料金には、カヌー教室受講料/カヌーレンタル料/ライフジャケットレンタル料/シャワー使用料/保険料が含まれます。

■申込方法
info@kanagawaclub.com までメールにて、
*代表者の、氏名･住所･性別･年齢･携帯電話番号･メールアドレス･FAX 番号
*同伴者全員の、氏名･性別･年齢をお送り下さい。先着順に受け付けさせていただきます。

なお、いただいた個人情報は本教室にかかる手続き以外には一切利用いたしません。

■申込受付期間
7 月 8 日(月)～8 月 4 日(日)到着分まで
※ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。

■費用納入方法
参加費は当日会場にて、かながわクラブ担当者までお支払いください。
※当日キャンセルされますと費用を全額いただきます。ご注意ください。

■その他
荒天時の対応方法や持ち物･服装などの詳細は、別途申し込まれた方にお知らせいたします。

また、金額や当日の詳細な時刻はあくまで現時点での予定になり、若干の変更がある可能性がありますことを予めご了承ください。

詳細に関しましては以下までお気軽にお問い合わせください。

■お申し込み･お問合せ先
特定非営利活動法人かながわクラブ
担当　豊田泰弘
〒221-0863
横浜市神奈川区羽沢町 1817
TEL 045-370-3390
FAX 045-381-8884
info@kanagawaclub.com

toto FOR ALL SPORTS OF JAPAN
がんばろうニッポン サッカーファミリーのチカラをひとつに!

大会・公式戦結果

Top

【県社会人リーグ 1 部】

▼第 3 節

vs 港北 FC　4-1 ○

▼第 4 節

vs 横浜 GSFC コブラ　5-1 ○

▼第 5 節

vs FC コラソン・プリンシパル　4-1 ○

【市民大会】

▼1 回戦

vs ウポポタマス　不戦勝 ○

Youth

【県 U-18 リーグ】

vs 横浜隼人高校　0-2 ●

【関東クラブユースリーグ】

vs Rio football club　0-6 ●

小 5

【区リーグ】

vs 横浜かもめ SC　0-1 ●

vs ビッツ　0-2 ●

【A-LINE リーグ】

vs FC 小坂　6-1 ○

vs あざみ野キッカーズ　1-0 ○

小 4

【南 JFC 創立 40 周年記念 8 人制大会】

▼グループリーグ

vs 清新 SSS　2-4 ●

vs 南大野 SSS　5-1 ○

※グループリーグ 1 位で順位決定戦へ

▼順位決定戦

vs 南 JFC　0-5 ●

※6 チーム中 2 位(準優勝)

小 3

【区リーグ】

vs ライフネット　0-1 ●

vs 横浜かもめ SC　1-0 ○

【ROOKIE LEAGUE】

vs リバーFC　0-7 ●

vs アローズ SC　1-4 ●

小 2

【南 JFC 創立 40 周年記念 8 人制大会】

▼グループリーグ

vs 清新 SSS　3-4 ●

vs 南 JFC　2-6 ●

※グループリーグ 3 位で順位決定戦へ

▼順位決定戦

vs 南大野 SSS　3-0 ○

※6 チーム中 5 位

Papas

☆Papas

【横浜カップ】

▼グループリーグ

vs 日大高校 OB　1-0 ○

vs 翠嵐高校 OB　2-0 ○

vs 東高校 OB　1-1 △

▼順位決定戦

vs 東高校 OB　1-0 ○

※4 チーム中 1 位(優勝)

☆Over50

【市マスターズ】

vs チング倶楽部　1-0 ○

☆Rec

【県四十雀 4 部リーグ】

vs 明星クラブ四十雀　2-1 ○

vs J クラブシニア　0-5 ●

☆Comp

【県四十雀 3 部リーグ】

vs FC 中沢シニア 40　4-0 ○

vs 駒寄 FC シニア　4-1 ○

vs 神奈川高麗 FC　2-3 ●

かながわクラブへの思い

1979 年の発足以来、30 余年かながわクラブのコーチを続けてきました。そして、この7月よりクラブの代表（理事長）を引き受けることになりました。

内田前理事長からは、『1. よりよいクラブとなるために、皆さんで知恵を出し合っていく。2. スポーツを「見る」「する」だけでなく「支える」多くの人材をスポーツ界に送り出していく。3. 拠点クラブとして、他のクラブを引っ張っていく。そして、それらを実現するために、何を、どうすればできるのかを具体的に話し合ってあっていただきたい。これがクラブの「理念」です。』の言葉をいただきました。

幼稚園卒園児をもとに、地域密着型でスタートした町クラブが、20 年後にはNPOかながわクラブ、総合型スポーツクラブに成長し、現在は、神奈川県にあって拠点クラブとしてその役割を期待されるまでに発展してきました。

先日、5 月末にスペイン遠征を終えた、西谷冬樹氏・永山邦夫氏（かながわクラブOBで現在はマリノスプライマリーU-12 コーチ）に会う機会がありました。

「状況に応じた判断とそれを表現するチーム・個人の戦術と技術、崩しのためのボール運び、どれをとっても大人と同じサッカーをしてくるんです。『あーっ、すべてやらせていいんだ。小学生だからここまで！なんて決めてしまってはいけないんだ』と確信しました。」

「世界に飛び出していった仲間（指導者、選手、サッカー界で仕事をしている人）たちが会いに来てくれたんですよ。全員がプロサッカー選手になれるわけではないです。でも、サッカーを通して人間として成長することが出来ます。そして、世界中に仲間のネットワークを広げていくことができるんです。」のお二人の言葉を聞いて、かながわク

ラブの理念、使命を再確認することができました。
世界に通用するサッカー選手を育成する。
サッカーを通して一流の人材を育成する。
たくさんのかながわクラブファンを生み出す。
偉大なる歴史と伝統を次の世代に引き継ぎ、これまでお世話になったたくさんの方々への報恩の思いで、皆さまのご協力をいただきながら、代表の大役を務めていきます。
どうぞよろしくお願いいたします。
****
6/23 にトップの試合応援に行ってきました。首位攻防の大切なゲームに4－1で快勝！秋には優勝が決まる試合がやってきます。皆さま、トップチームの応援歌はいかがでしょうか。

「トリコロールのマフラーを! 」

*手のひらを太陽に(やなせたかし作詞)のメロディーで

ぼくらはみんな信じてる 勝つぞ かならず この試合
ぼくらはみんな信じてる かながわクラブの優勝を
トリコロールのマフラーを まわしてみれば
みんなの思いが 選手にとどく
トリコロール、トリコロール かながわクラブ
みんなみんな信じているんだ トップの優勝！

皆さんで元気に歌って、優勝を決めるまで応援しましょう。

今、グラウンドでは・・・

Top

【県リーグ首位】

県リーグ戦は第 3、4、5 節を行いました。6 月 2 日 vs 港北 FC との試合は先制されたものの、落ち着いた試合運びで 4－1 の逆転勝ちをし、この時点で暫定首位に立ちました。

6 月 9 日 vs GSFC コブラ戦は、1 位と 3 位の対決で両チームのサポーターで保土ヶ谷サッカー場のスタンドがほぼ埋まる約 500 人の観客が見守る中、熱戦が繰り広げられました。過去 2 年間勝てていなかったチーム相手に苦戦が予想されましたが、かながわクラブの見事なパスサッカーで 5－1 で圧勝しました。

6 月 23 日 vs FC コラソン・プリンシパルとは、3 勝 1 分け同士の首位決戦、前半戦の最大の山場でした。相手の分厚い攻撃に押され気味でしたが、センターバックの眞弓と日下部を中心とした守りでゴールを死守します。数少ない攻撃のチャンスを生かして、それをものにしたかながわクラブの決定力が勝り、4－1 で勝利しました。

県リーグ 5 戦を終え、4 勝 1 分け 勝ち点 13 で単独首位に立っています。かながわクラブが県リーグで一瞬でも首位に立つのは、県リーグ 1 部に昇格して初めてのことです。序盤とはいえ、上位チームとのサバイバル戦を制したことは、選手たちの自信にもなります。しかし、県リーグは半分以上試合を残しており、これからの試合が重要になってきます。まだ手にしていない県リーグ優勝に向けて、チャレンジャーとして残りのリーグ戦を闘って行きたいと思います。

今年は例年になく多くのサポーターの方々に試合に足を運んでいただいて、選手、スタッフとも感謝しております。特にコブラ戦では、エスコートキッズの子供たちを含め、パパスを含めたほかのカテゴリーの選手たち、ご父兄にもたくさんご観戦いただいて、ありがとうございました。選手たちも大勢のサポーターの中で試合をすることができる喜びを感じながら、さらにサポーターの方々にまた見に来たいと思っていただけるような試合をしていきたいと思っています。

なお、県リーグの試合の様子や内容の詳細については、TOP チームのホームページに載せてありますので、ぜひご覧ください。

【県リーグ試合予定】

■7/28(日) vs VERDRERO 港北
19:05 キックオフ 秋葉台公園球技場

これからも、TOP チームの応援をよろしくお願いいたします。

☆今月の注目選手

#8 日下部 諒

昨年末からTOPチームに加入し、すでにチームでは不動のセンターバックとして大活躍しております。1 対 1 での絶対的な強さ、ピンチの芽を摘む判断力、ピンポイントでロングパスを出せるキック力、未だにイエローカード 0、どれをとっても超一流の選手です。昨年の 1 試合平均失点 2.0 点から今年は 0.8 点になっており、TOP チームの躍進の立役者です。また、子供たちとサッカーをやるのが大好きと言う優しい心の持ち主でもあります。人気急上昇のイケメン日下部選手に注目してください！

【TOP チームホームページ】

http://www.kanagawaclub.com/topteam/

（中本 洋一）

Youth

K3 リーグ開幕第一線対横浜隼人高校結果は、0－2 で敗戦のスタート。前半に 2

失点、PKとクロスの対応ミス、しかし試合の入り方は悪くはなかったです。また大崩れもしませんでした、後半は、粘り強く戦いましたが、攻撃時のミスが多く、それにより 2 列目からの攻撃参加が出来ず、攻撃に厚みをつけることができません。仮にミスが少なくても中々前線に飛び出していく体力が無いですが、それでも後半無失点に抑え、何回かのチャンスを作ったことは進歩と言えるでしょう。Jrユースからも4人来てもらい、先発で3人入れましたが、みんなよく戦ってくれました。

今シーズンは、メンバーもさらに少ないので厳しいですが、攻撃と守備のバランスを常に保ち、より組織的な守備で、取りどころでしっかりボールを奪い切る。攻撃ではシンプルに、時にはリスクを冒して得点を狙いに行き、昨年度よりも良い成績が出せるようみんなで頑張りましょう。（高 勝竜）

Junior Youth

久しぶりに、練習の成果を試合で確認できました。良いイメージを持ってプレーしていることは、顕著に現れていましたが、攻撃の練習をメインで行ってきた割には、シュートの積極性に欠けていて、文句を言われてからアクションを起こしたのは残念でした。

献身的な守備により、相手ボールを早く回収することはできていましたが、奪ったボールを確実につなげなかったところは、引き続き改善しなければいけないポイントです。

今後は「シュートの意識」、「正確なパスと技術」、「1 対 1 に負けない」を更に追求していきます。（高田 成典）

小 6

【ある日の出来事】

朝 8 時からの練習の時でした。体育倉庫を開けてビブスケースを出そうとした時、いつもとは違い 4 人の選手が着替えをする手をとめて「手伝います！何かほかにすることはありませんか！」と駆け寄ってきてくれました。正直、前日お誘いいただいた懇親会（ありがとうございます！）で楽しい時間を過ごしたせいか、少々寝不足気味で疲れていたのですが一気に吹き飛び、いつも以上にやる気がでてきました。

選手のみんなには普段から「自分の事も大切だけど、チームの為に何が出来るのか？」という事を考えるようにと伝えてきました。その成果が少しずつですがあらわれてきたようです。とても小さな事ですが、本当にうれしい出来事でした。これからもチーム内で皆が協力し合ってチーム力を高めていける事をコーチは願っています。

もうすぐ、夏合宿です。参加する人は参加できないチームメイトの分まで頑張って挑みましょう。参加できない人たちは、日曜日に最上学年6年生を代表して下級生のお手本となるように練習に望んでください。

（伊藤 雅）

小 5

選手のみんなはコンフェデレーションズカップの試合を見ましたか？

この大会はブラジルのネイマール選手の大会と言っても過言ではない程の活躍を見せてくれました。

このネイマール選手の凄さはいろいろあると思います。勿論、見ているみんながわかる様にボール扱いの技術がもの凄く高い選手です。でもそれだけでしょうか？技術も勿論ですが、それに加えてオフザボールの動きや姿勢等、ボール扱い以外にも世界のトッププレイヤーであることを存分に披露してくれました。今年はバルセロナへの加入も決まり、これからのメッシとの競演が今から楽しみです！！

そのネイマールから学んでほしいことが沢山あります。

①駆け引き

ボールを持っていない時も彼はDFとの駆け引きを常にしていました。わざと DF をマークにつかせて遠ざかって味方のスペースを作ってみたり、DF と DF の丁度中間にたってマークをつきにくくしたり、逆に自分にマークを集中させ混乱させたり、DFとMFの間（ギャップ）をわざと空けておいて、タイミングとスピード変化でギャップに入りボールを簡単に受けたり、と常に駆け引きを楽しんでいる様に見えました。

②スピードと角度の変化

単にスピードが速いではなく、ゆっくりと速いを混ぜることによって自分が優位にたっていました。その上、角度を変えることを加えて相手より更に優位な状況を作っていました。それを実践することで相手マークを外したり、相手をわざと飛び込ませて交わし置き去りにしたり、とにかく相手がどのタイミングで取りに行ったり、マークについたりしていいのかわからない状況を作っていました。

5 年生の皆もそれぞれが自分なりに①②を考えて実践してみると、今迄とは違った感覚や相手が自分の考えに「引っかかった！！」という感覚が得られるかもしれません。そうなるとサッカーはもっと面白いもスポーツに変化します。

例えば、スローイン時、スローワーから背を向けてゆっくり歩いて遠ざかって行くとします。ゆっくり歩いているのでマークをする相手もゆっくりついてくるでしょう。そしてだいぶ遠ざかって歩いて出来たスペースに急に振り返って全力で走って近寄って行けば必ずマークしている相手を振り切ることが出来るでしょう。最初から早く走って遠ざかってまた近寄ってきては相手のマークは外れません。このようにスピード、角度の変化と相手との駆け引きをサッカーのプレー中どの様な場面でも意識して自分なりに実践して貰いたいと考えています。

これからの 5 年生のキーワードは『駆け引き』、『スピードの変化』、『角度』にします！！どれだけ意識出来るか、どんな変化を見せてくれるかが楽しみです！！

（益子 伸孝）

小 4

先月 4 年生は 2 回の親子サッカーを行うことができました。一度は堀さんのご好意により天然芝のすばらしいグラウンドで、もう一度はしんよこフットボールパークでのクラブイベントにおいてです。両日とも多数の保護者・ご兄弟にご参加いただき盛況のうちに終えることができました。この学年の保護者はとてもスムーズに動ける方が多く、子どもたちは、まだまだかなわない保護者チームを相手に、夢中になってボールを追いかけていました。今後もご家族が気軽に参加できるイベントを企画していきたいと考えておりますのでさらに多くの方にご参加いただき、ご家族でボールを蹴る楽しさを実感していただければと思います。

いよいよ夏休みですね。子どもたちは既にキャンプや帰省や旅行など夏休み中の予定を楽しそうに話してくれてます。ぜひ夏休みにしかできないことに色々とチャレンジし、様々な体験をしてもらいたいと思います。クラブでも白馬遠征合宿をはじめ、色々な相手とトレーニングマッチを組んだりし、人間的にもサッカー選手としても一回り成長できるきっかけを作っていければと思います。基本的には楽しく仲間とサッカーするすばらしさを実感してもらいながら、楽しさの中にも厳しく激しくボールを奪い合うような環境を目指して取り組んでいきたいと思います。

（豊田 泰弘）

小 3

【最近の練習】

最近の練習で、多く取り入れているのは、少し浮いたボールにしっかりと対処する練習を行ってきました。浮いたボールをしっかりと相手の胸にパスすること、しっかりとヘディングをすることを練習していますが、やはりまだ浮いたボールを処理することになれておらず、ボールがどこかへ飛んで行ってしまい、取りに行っているシーンが多くみられます。これだと、キーパーが蹴ったボールなどで簡単に失点するようになってしまうので、ビビることは、多少は仕方ないと思いますが、それで相手に点を取られてしまうということを意識して、練習に取り組んでもらいたいと思います。

【最近の私】

6 月は第 2 週から教育実習に行ってきました。自分の母校に行ってきたのですが、すごく複雑な思いでした。自分がいろいろなことを 6 年間教わってきた学校で、逆に自分が教える立場になることを想像していなかったからです。しかし、いざ教壇の上に立って授業をすると、かながわクラブでの経験があったためか、まったく緊張せずに授業を行うことができました。板書等は指導員からいくつも指導されてしまいましたが、授業自体を指導されることはなかったですし、生徒とも仲良くなれ、すごく有意義な時間を過ごすことができました。そして何より、やはり自分は何かを教えることが好きなんだと再確認できました。今後もこの気持ちを忘れずに、いろいろなことに取り組んでいきたいです。

（近江 柔）

小 2

【試合は子どもが主役】

お蔭様で試合の機会が増えています。かながわクラブが強くもなく弱くもなく、相手にとってやり易いということもあるのでしょう。また、試合をすることで得られるものがあると考えて誘ってくれるチームもあるのでしょう。いずれにしても、試合は子どもたちが主役であることを忘れてはなりません。決して大人のストレス解消の場であってはなりません。

試合は普段の活動（練習）で身につけた技術がどれくらいユニフォームの色の違う相手に対して通用するのかを試す機会です。練習で身につけたこと以外は試合の中で表現できません。言い換えれば、指導者が教えていないことは試合の中で子どもたちができるはずがないのです。ところが、試合が劣勢になると、勘違いをした指導者が、腹立たしげに、子どもたちを怒鳴り始めることがあります。自分の指示通りに動かないことが、劣勢に立たされた最大の原因であるかのように…。ほとんど感情的に、声を嗄らして、子どもたちを威嚇し始めます。一見すると熱血指導とも思われそうですが、その発言内容に耳を傾ければ、たちまち化けの皮が剥がれてしまいます。

せっかくの試合という場にも拘らず、威嚇や脅しでは子どもたちはパニックに陥り、本来の実力を発揮することができなくなります。子どもたちに、安心して練習してきたことを試合の場で発揮させるには、ミスを恐れず、チャレンジする気持ちを大切にする大人（指導者）の姿勢を示さなければなりません。そして指導者としては、冷静に、子どもたちが練習してきたことを試合の場面で発揮できているかどうかをチェックすることが求められます。子どもたちが主体的に試合に臨める雰囲気を作ることが大切です。プレーするのは子ども、あくまでも子どもたちが主役なのですから。

【ベストを尽くす】

試合に限らず、普段の活動でも重視していることに「一生懸命にやる」「自分のベスト

を尽くす」ということがあります。これは決して上手なプレーをしなさいという意味ではありません。上手い下手に関しては相対的なものですので、他者との比較になってしまいます。しかし、ベストを尽くすというのは個々の問題ですから絶対的なものです。自らがサッカーに対して真摯に臨むことができるかどうかに関わってきます。下手でも一生懸命にプレーする姿勢は伝わりますし、逆に上手なのに手抜きのプレーも見ていて分かります。

無責任なプレー、手抜きのプレーは一緒にサッカーをする仲間だけでなく相手に対しても失礼極まりないことです。試合で勝っていても、負けていても、一生懸命に取り組むことは誰にでもできることなのです。何点取られようが、自分たちが練習してきたことを愚直に繰り返し、相手より 1 点多く点を取るために努力することが大切なのです。一生懸命にプレーしてのミスは許されます。できるのに敢えてしようとしないのはチームの士気を低下させますし、その子の成長を妨げます。どのような場面であっても(試合でも練習でも)、常に自分ができる最大限の努力を惜しまないようにと子どもたちには伝えています。

【ベンチは静か…】

というわけで、かながわクラブの試合中のベンチでは、静かに試合を見つめていることが多くなります。時折、大きな声で「取られたらどうする？」とか「他に何かできなかったの？」という言葉が発せられます。これらは一生懸命にやらないことを諌める意味であったり、考えることを怠ったことへの注意喚起の意味であったりします。子どもたちに必要なのは「ああしろ！」「こうしろ！」といった手取り足取りの指示ではありません。練習してきたこと、できることに気づかせることです。

試合の意味は、勝ち負けも、勿論大切な要素ではありますが、何よりも普段の練習の成果を試す場です。点を取られて意気消沈する気持ちは分かりますが、私たちは「勝つこと」に拘ってはいません。せっかくの試合という機会ですから、練習してきたことが発揮できたかどうかを問題にしたいと思います。練習の成果が発揮でき、結果として勝ちに繋がれば言うことはありません。

キーパーに関しては専門的に鍛えているわけではありません。まだまだ、子どもたちは、自分でシュートすることに魅力を感じているはずです。キーパーが大好きで…という子は恐らくいないでしょう。そこで、志願してくれる子を順番にキーパーに指名して出場させています。したがって、キーパーのミスには目をつぶりましょう。ゴールキックからの失点にも目をつぶりましょう。また、失点はキーパーだけの責任ではありません。しかし、失敗したときには、次にどんな工夫ができるかを子どもたちには問いかけます。その結果子どもたちの中から、シュートを打たせないようにすること、キックの得意な子がゴールキックをけってあげること、正面ではなく横にゴールキックをけることなど…が工夫として出てきます。

今後も、試合中のベンチからは、子どもたちの可能性を信じて「気づき」を促す助言を中心にしていきたいものです。

（佐藤 敏明）

幼児・小１

【熱中症対策】

サッカーに限らず、スポーツをするには厳しい季節がやってきました。給水タイムを設けたり、練習の合間に休憩をはさんだりと、グラウンドでできることは限られています。早寝早起きや朝ごはんをきちんと食べるなど、ご家庭においても日頃の生活習慣を見直していただき、暑い夏を元気に過ごしたいですね。

人間の体は汗をかくことで体温を調節しています。湿度が高くなる梅雨から連日真夏日となるような時期にかけては、パフォーマンスの低下を最小限に抑えるために、失われた水分と塩分を上手に摂取することが大切です。スポーツドリンクを半分程度に薄めて、輪切りしたレモンと適量のハチミツを入れ、そこに少しだけ塩を加えるとスペシャルドリンクのできあがりです。ぜひ、お試しください。

【親のための 10 の心得】

～ノルウェーサッカー協会

お父様とお母様方へ。日頃、どのような応援をなさっていますか。それぞれのご家庭には色々なお考えがあると思いますので、どれが正しくてどれが間違っているということをここで述べるつもりはありませんが、一つの考え方ということで、以下をお読みいただければ幸いです。

1. 試合や練習を見に行ってあげましょう。（子供はそれを望んでいます）
2. 試合ではすべての子供を応援してあげましょう。（自分の子供だけではいけません）
3. 調子の悪い時だけでなく調子の悪い時も勇気づけてあげましょう。（批判してはいけません）
4. プレーヤーとして尊重してあげましょう。（彼らの判断に圧力をかけないようにしましょう）
5. レフリーはインストラクターとみなしましょう。（判定を批判してはいけません）
6. 子供が参加することを刺激し、勇気づけてあげましょう（プレッシャーにならないように）
7. 試合がエキサイティングだったか、楽しかったか、聞いてあげましょう。（結果だけを聞かないように）
8. サッカーにふさわしい、節度ある用具を準備してあげてください。（大げさになってはいけません）
9. クラブの仕事を尊重してください。（積極的に親のミーティングを持ち、どのような

態度で臨むべきかを話し合いましょう)

10. 忘れないでください。サッカーをするのはあなたの子供です。(あなたではありません)

(鈴木 章弘)

Papas

【グラウンドはありませんか？】

Rec&comp の 2 チームは、県シニアリーグに加盟して 40 歳以上の公式戦を全県下で楽しんでいるところですが、2 チーム加盟体制の危機ともいうべき事態が起こりつつあります。

23 年度･24 年度の 2 か年にわたって試合会場となるグラウンドを提供できなかったチームに対して、提供できなかった理由と今後の対応について文書回答を求められ、先日回答いたしました。

県シニアリーグ加入条件として、1チームが全日(おおよそ 9:00 から 16:30 まで)利用できるグラウンドを 2 日間試合会場として提供できることが条件でした。当時は、インターネット予約システムなどなく、かながわクラブの各カテゴリーは、三ッ池公園運動広場を重用しており、月初めの利用抽選の日には、保護者総動員で公園管理事務所の抽選に並び、だいたい 2 日分ぐらいは毎月確保しており、日曜日も 1 日は確保していました。ですから、年間全日二日間のグラウンド提供義務を果たすのは、さほど難しくなく、加盟した翌年にさらに 1 チーム増やして 2 チーム体制にするに際しても、特に問題にもなりませんでした。しかしその後、三ッ池公園を始め、県営、市営のグラウンドにはスポーツ施設予約システムによって、予約するようになりましたが、このシステムでは、1 回の利用時間が原則 2 時間で、しかも予約開始が 2 か月前からとなり、とてもとてもこのシステムで予約していたのでは、年間全日二日間のグラウンド提供義務を果たすのは、大変困難になってしまいました。それでも、どこかが取得したグラウンドが使わなくなった情報を聞きつけては、使わせてもらったり、紙面では書きにくい蛇の道で確保したり、半日とか 2 時間とかの短時間のグラウンドを確保しては提供するなど、お茶を濁しながらなんとか切り抜けてきたつもりですが、とうとう捕まってしまったというような感じを受けております。背に腹は代えられず、リーグに対する文書回答では、しんよこ FP や MMFP など高額な人工芝グラウンドであれば何とか確保して提供できると回答せざるをえませんでした。幸い高額な施設を提供した場合には、リーグからも相当の助成金が出ますので、全額クラブ負担というわけではありません。しかし、他のシニアリーグが市営の廉価なグラウンドや学校開放による公立学校の運動場を提供しているのと比べると、施設の質、かかる費用の両面で著しくバランスを欠いていると言わざるをえません。当面はいたし方ないとしても、できれば来年度からは、公立のグラウンドや学校の運動場を廉価で確保して提供したいと考えています。

そこで、Papas の皆さん、これをお読みの保護者をはじめとする関係者の皆さんにお願いがあります。

どこかにグラウンドはありませんか？私たちに日曜日に全日貸していただけるグラウンドはありませんか？

皆様のご出身の学校開放とか、お子様の学校とか、PTA の役員をやっているとか、お勤めのあるいはお取引先の企業の運動場とか、ありませんでしょうか。お借りする日や費用についても十分相談に乗れます。場合によっては、Papas メンバーの職業上の専門的知識経験を学校の総合の時間で提供することもできますし、Papas 総動員での草取りなどの奉仕活動もご提供できます。どうか、どこかにこんなグラウンドがあるという情報を是非 Papas スタッフまでお寄せください。心からお待ちしています。

(茅野 英一)

ヨーガ（水曜日クラス）

【癒しフェア】

ヨーガをはじめ「癒し」が変わらず静かなブームです。

今年もその「癒し」をテーマにしたイベントが8月3日～4日に開催されます。その名も「癒しフェア」です。場所は東京ビッグサイト！

女性のためのヒーリングビューティライフを

内田泰嗣税理士事務所
有限会社トップガン（ワン・ストップサービス）

税 理 士　内 田 泰 嗣

横浜市神奈川区入江２－１９－１１
〒221-0014 大口増田ビル２０３号
ＴＥＬ （０４５）４３１－０４０８
ＦＡＸ （０４５）４３１－０４８８

コンセプトに、いろいろなジャンルのブースが出たり、ワークショップが行われたりします
http://a-advice.com/tokyo_2013/

毎年約 3 万人もの入場者数を誇るこのイベントで、なんと私もワークショップを担当させていただくことになりました。ドキドキですけれど頑張ってこようと思います。心も体も癒されるヨーガの素晴らしさをお伝えしたいです。

当日入場券は1000円ですが、事前でしたらインターネットで無料入場券をダウンロードできます。また、ヨーガのクラスでも無料入場券をお渡しできる予定です。いろんな商品サンプルももらえる楽しいイベントですので、お時間がありましたら是非足を運んでみてください。

皆様にヨーガを色々な角度から楽しんでいただけますように。

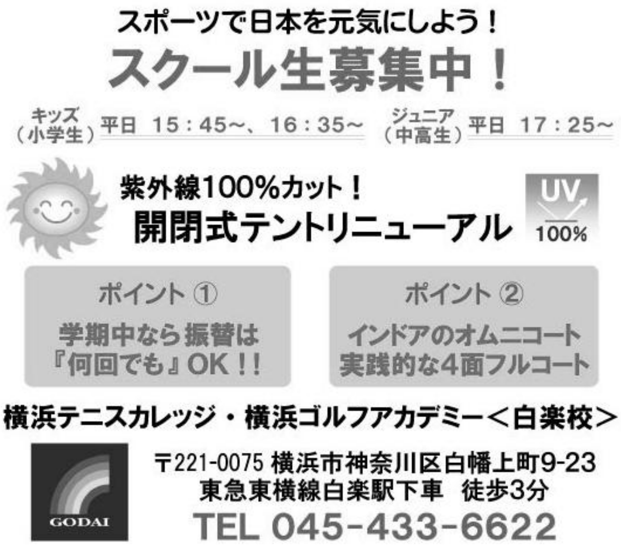
（伊藤 玲子）

ヨーガ（金曜日クラス）

【一人ひとりのヨーガ】

7月に入りましたが、未だジメジメとした感じです。晴れの日も、大気が不安定でいつパラっと降ってくるかわからない。梅雨の時期は気圧の変化などで自律神経がちょっとしたパニック状態になり、体調を崩しやすいと言われています。全身の重だるさ、頭痛、消化不良、貧血や風邪などなど、思い当たる方もいらっしゃるのではないでしょうか？

生徒さんの中にも腸炎で1週間寝込んでしまったという方がいらっしゃいました。消化の良い物を少しずつ食べられるようになり、ある程度動けるようになってきたところで教室に参加して下さいました。「参加する方が心にも身体にも良い気がする」と感じたそうです。全快ではない状態が心配でしたが、生徒さんにとってヨーガの時間の大切さ、日常に染み込んでいる様子が嬉しく、「無理はせず、様子を見ながらやりましょうね」とお言葉掛けをしてレッスンを行いました。途中途中、自主的に休んでいる様子でしたが、レッスン終了後、「やっぱり参加して良かったです。久しぶりにゆったり体を動かしてすごく気持ちが良かったです。」と笑顔でおっしゃっていました。きっと、自分の身体と相談しながら動いたからこそ、気持ちよさを感じられたのだと思います。「皆さんからも元気なエネルギーを頂きました！」という言葉も印象的でした。そして改めて、ヨーガが他人と比べたり競争したりするものではなく、一人一人が自分の身体や心を見つめる時間であり、それがトータル的な健やかさに繋がるのだなぁと感じました。

8月の白幡ヨーガはお休みとなり、9月から秋の期が始まります。運動の秋です！また、夏の間に疲れるであろう(笑)心身を癒すべく、ぜひご参加下さい。

（中川 有香）